

平成31年度

一般会計予算

71億2500万円を原案可決

第1回3月定例会

会期 3月5日～14日

本議会では、条例の制定・一部改正や平成31年度各会計予算など町長提出議案45件が上程されました。町長提出議案は慎重審議され、44件を可決し、1件を否決しました。また議員発議5件の可決、請願2件の採択等でした。
また、町政に対する一般質問では、7人の議員が登壇し、町政発展に向けての活発な議論がなされました。（一般質問は、10頁～12頁に掲載しています。）



町長施政方針演説の様子

平成31年度一般会計予算

一般会計では、前年度より4700万円減（0・7%減）の歳入歳出総額71億2500万円の予算案が提案されました。

主な施策

人口減少にもまけない
小さくても輝き続けるまち

- ・市街地内に移住相談窓口を設置
- ・移住前の生活体験のためのお試し住宅を整備
- ・転入者・新婚世帯への民間賃貸住宅の家賃補助
- ・子育て世帯への住宅取得奨励金、定住促進奨励金制度の拡充

本町の自然や特性を活かした地域経済の創生

- ・ウッドスタート事業の実施
- ・都市との交流事業の環境整備の実施
- ・町内企業へのITコーディネーターによるIT化への支援
- ・町内での起業への支援
- ・旧埼玉県山西省友好記念館神楽館をクライミング施設へ改修

輝く未来へ おがの人づくり

- ・認定こども園の開設に向けた協議・検討
- ・小鹿野未来塾の実施
- ・義務教育課程における教材費、給食費の無償化
- ・中学生の海外派遣事業実施の事前調整
- ・図書館分室を歌舞伎等地域文化の展示スペースへ改修
- ・町営武道場空調設備設置

すべての世代に配慮された社会保障の充実

- ・母子手帳アプリの導入
- ・第3子以降の出産に対し、支援金を50万円に拡充
- ・18歳年次までの医療費の無料化
- ・高等学校等への通学費助成
- ・プレーパークの設置

快適で安心して暮らせる環境の整備

- ・消防団第5支団第1分団詰所建設
- ・消防団第5支団第1分団水槽消火防車の更新
- ・防災行政無線のデジタル化、個別受信機の毎戸配付（2箇年の継続事業）
- ・長若14区内へ公衆便所新設

主な質疑

庁舎整備事業費

予算額205万円

Q この予算の内容は何か。

A 今後、庁舎の基本構想等をつくっていく中で、専門的な分野のアドバイスをいただくための費用です。

Q どなたから専門的なアドバイスを受ける予定か。

A 現在、ものづくり大学の大島教授とアドバイザー契約を結んでいます。これから具体的な計画を立てるうえで構造的なもの等、違った分野でのアドバイスも引き続きいただくことで考えています。

公衆便所維持管理費

予算額2132万6000円

Q 腰の根、札所31番の公衆便所それぞれの改修費、長若14区に新設される設置費はいくらか。また、どのような公衆便所を予定しているか。

A 腰の根が500万円、札所31番が600万円、長若14区が500万円を予定しています。長若14区に新設される公衆便所は、地元の方達と協議する中で、身障者も利用できるものをつくってもらいた

いということですので、これからレイアウト等検討していきたいと思えます。

クライミングによる町おこし事業費

予算額1億4468万6000円

Q 全国に多く施設があり、経営は厳しいと思う。あと1年かけゆくり検討すべき。拙速ではないか。

A 多くの時間を割き、長い間議論する中でここにたどり着きました。そういった面で拙速ではないと思っています。2020年のオリンピックにぶつけるには来年度がチャンスとの判断です。

Q 集客が心配だ。相当の努力が必要だと思うが、何人を見込んでいるか。

A 1日20人、週6日営業で年間300日として6000人。イベントを年4回開催し、1回の入場者数を500人として2000人合わせて8000人を見込んでいます。

Q 本体工事発注前までにしっかりとした事業計画を作成し、議員はもとより町民にも示し、理解を得ることが大切だと思うが。

A しつかりとした計画を立て、議員、町民にお示ししながら議論を深めていきたいと思っています。

平成31年度一般会計予算

【討論】(要約)

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

まず庁舎について、明治時代に地滑りがあつたと町史にあることから、現在地の地盤が非常に不安だと推測できます。また、建築費も現在地に新築した場合と私が旧三田川中学校の改修で試算したものと比べ約8億円の差があります。クライミングの事業についても、進め方の順序に問題があり私には理解できません。目の先の事ばかり追っています。以上のことから反対します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

新年度予算で心配なのが水道です。平成28年度から広域水道になり、多額のお金を負担金として支出してきました。私は、町の負担が増え、最後には水道料金も大幅に上げられ町民負担が増えると言ってきましたが、そのとおりになりそうです。クライミングによる町おこし事業も、平山氏というクライミングで世界的に有

名な方がバックにいることに危惧しています。小鹿野町の今までの事業の中で、バックに有名な方がいてうまくいった事業はありません。以上のことから反対します。

【原案に反対】

6番 猪野 武雄

クライミングによる町おこし事業の経営計画等の説明を受けましたが、思惑どおりの集客ができるのが、難しいところです。少し無謀であり拙速ではないかと思えます。もう少し時間をかけて検討すべきだと思います。また、庁舎の問題も、町長はこの場所に新築ありきで進めています。身の丈に合った整備で旧三田川中学校を最低限のリフォームで活用することがいいと思います。小鹿野町の将来にとって非常に大事なことです。ので反対します。

【原案に反対】

5番 山中 豊彦

クライミングによる町おこし事業に関して、町長、副町長ががんばっていることについては敬意を表しますが、本来、役所がこういう仕事を

(4頁上段へ続く)